

中井博幸の市議会報告

平成30年9月議会 (第33号)



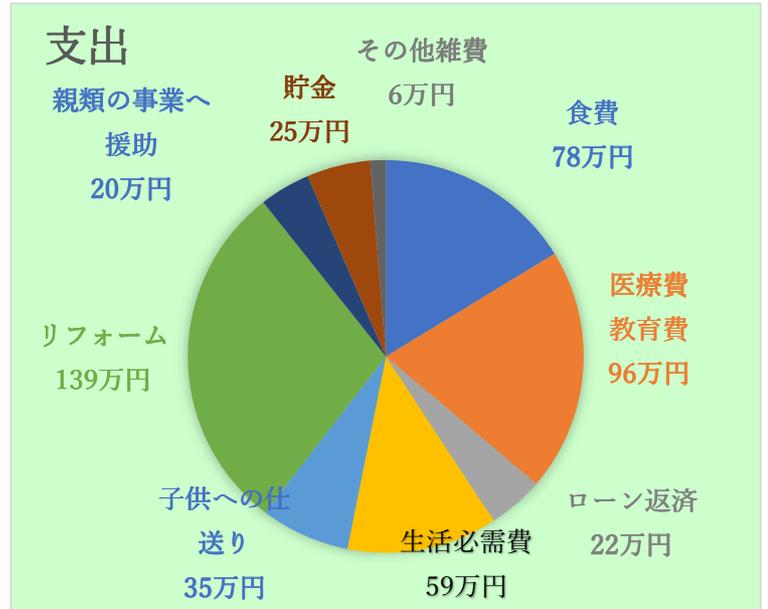
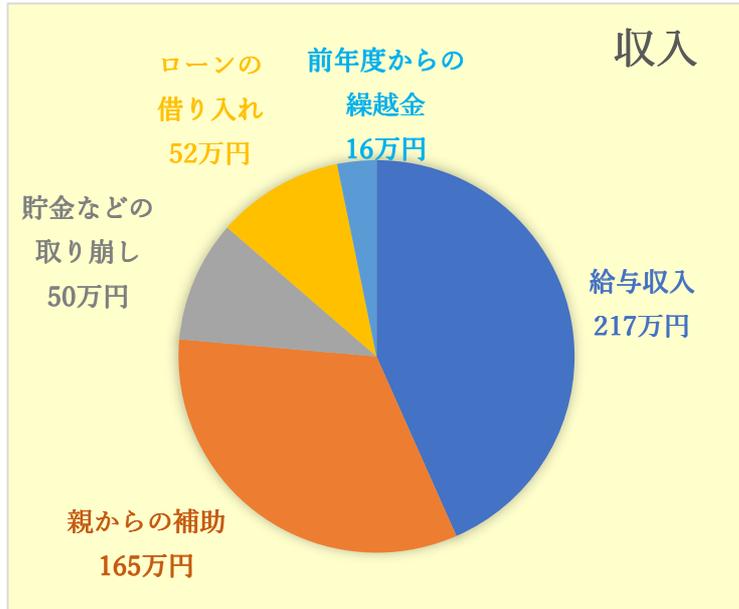
平成29年度の一般会計などの決算を認定しました

平成29年度の箕面市の決算を年収500万円の家計簿に置き換えると

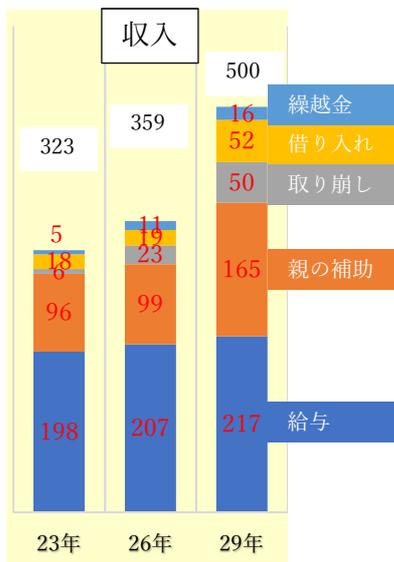
箕面市の決算をイメージしやすいように、収入が500万円のみのお家の家計簿に置き換えました。収入の内訳は給与(市税など)が217万円、親からの補助(国・府からの補助金など)が165万円、貯金の取崩しが50万円、ローンの借入が52万円、前年度からの繰越金が16万円でした。一方、支出の内訳は、食費(職員の人件費)が78万円、医療費・教育費(児童手当など市がやらねばならない事業)が96万円、ローンの返済が22万円、



生活必需費(光熱費、事務用品費など)が59万円、子供への補助(介護保険への補助金など)が35万円、車両購入・リフォーム(施設の新設や修繕など)が139万円、親類の事業への援助(各種団体への補助金など)が20万円、貯金が25万円、その他の雑費が6万円で合計480万円になり20万円の黒字でした。余った20万円は30年度に繰越し、その中から8万円は30年度に入ってから貯金しました。



29年度は、車両購入(北急延伸)や食費(退職手当)の増加で大幅増
過去を振り返ると、6年前の平成23年度のみのお家の収入は323万円でした。



箕面市の普通会計は、平成29年度は前年度比で約1.2倍、6年前に比べると1.5倍強になりました。これは、家計で言うところの車両購入やリフォームに当たる北大阪急行線延伸事業や新駅周辺整備事業が本格化したことで支出が増えたことが最大の要因です。支出の増大に伴い、収入では親からの補助に当たる国からの補助金や借入金などが増えるとともに、この時のために備えていた貯金の一部を取り崩しています。この状態は、今後数年続く見込みですが、本市の中長期財政見通しの範囲内で推移しているため、財政運営に大きな影響を与えるものではありません。今後も、医療費・教育費に当たる児童手当や生活保護費などの社会保障費の増加が見込まれるので、引き続き節約に心がける必要があります。



相次ぐ自然災害による被害

6月の大阪北部地震に続き、集中豪雨、猛暑、台風21号の襲来、そして屋根の修復も十分できていない状態での台風24号の襲来と本当に息の付く間もない状態で自然災害の恐怖を改めて知らされました。

台風の被害で倒木被害が多数発生



今年の夏は記録的な猛暑となり、学校行事にも大きな影響が出てしまいました。中学校では炎天下でのクラブ活動が自粛され、小学校のプール授業も中止が相次ぎ、残暑で小学校の運動会も延期されました。

瀧安寺も裏山の巨木が倒れ屋根が大きく損傷



箕面市議会は、市が行う地震対応に協力するため6月議会の一般質問の中止し、9月議会は台風襲来で委員会を延期しました。議会は、早急に、大規模災害などの非常時に備えるため、非常時における議会及び議員の活動原則を定めます。

一般質問は空調の熱源のために備蓄されたLPガスの有効利用について

問) 災害時に避難所となる体育館の空調設備に、プロパンガスで稼働するガスヒートポンプエアコンを採用した理由は?

答) 災害時に避難所となることを前提に検討した結果、20年間の維持費等を比べると電気比べプロパンガス方式のほうが安価になる。地震等の影響でライフラインが停止する事を想定した時、ボンベを備蓄するプロパン方式のほうが空調設備の稼働停止の可能性が低い。

問) 台風21号で停電した避難所は? 停電時の照明及び空調設備の稼働状況は?



答) 4校が停電し、うち2校は夜間にも復電しなかったため備蓄倉庫の発電機を使い照明器具を点灯させた。空調設備は併設されたプロパンガスの発電機が作動したので正常に稼働した。

問) 空調設備に併設されている発電機の余剰電力はどれほどか? それを活用する方策は?

答) 体育館の大きさで変わるが、小学校の体育館で7kw.分、中学校で4kw.分の余剰電力がある。体育館内の電気回路にコンセントを取り付ければ、余剰電力を避難所の照明等に利活用できる。

問) 避難所では、何を使って炊き出しをするのか? それら備蓄状況は?

答) 避難所の備蓄倉庫にカセットコンロ5台と、カセットボンベ30本、加えて、倒壊家屋等のがれき等を薪として使用するのためのかまども倉庫に備蓄しており、これらを使って炊き出しを行う。別に発電機用に20ℓのガソリンも備蓄している。

箕面市は、平成28年度の国の緊急防災・減災事業の予算を使って、今年の2月に災害時に避難所になる小中学校の体育館に空調設備を完備しました。空調設備は6月の地震や台風での避難所開設時に活躍したのは勿論、猛暑の中での部活動などで利用され好評でした。私は、9月議会の一般質問で、空調設備がプロパンガスで稼働する方式を採用したのであれば、備蓄しているプロパンガスをもっと有効活用するべきだと思ったので、これを課題として取り上げました。箕面市では、避難所の停電対

策として、1kw.の発電能力を持つ発電機を、炊き出しをするために、家庭用のカセットコンロや『かまど』を備えています。私は、空調設備で使う電気を賄うために併設している発電機は、発電能力の3割程度しか使っていないので、余剰電力を避難所の照明に使うべきだと提案しました。また、カセットコンロやかまどを使って大量の炊き出しが可能だとは思えないことから、備蓄しているプロパンガスと業務用の調理器具を使った炊き出し方法も検討するべきだと訴えました。

箕面市政に関することは箕面市議会議員 **中井博幸** にご相談ください
住所 箕面市桜4-7-28 電話 721-3230 Fax 722-8582